

できたよ！ 南相馬のお米

東日本大震災から9年が経ちました。

南相馬ではたくさんの方々の応援と農家のみなさんの頑張りで、ようやくお米を作る田んぼが震災前の半分以上の広さまでもどってきました。いまでは、市内の学校給食にも地元のお米が使われています。(2018年12月より)

いまこそ私たちは、感謝と希望を込めて、胸をはって伝えたい。

「できたよ！南相馬のお米！」

そしてその先には、それぞれの食卓で聞こえる、「ごはんできたよ」のあたたかい声。

そんな「できたよ」のリレーができたらと、私たちは願っています。

想いをカタチに…



南相馬のお米を「どこでも購入でき、みんなが安心して食べることができる」の想いをカタチに、「南相馬市産天のつぶ」を作りました。

天のつぶは南相馬市で最も多く栽培されているお米です。多くの生産者の想いをのせて、みなさまにお届けします。

南相馬市の紹介



南相馬市は福島県の「浜通り」と呼ばれる太平洋沿岸北部に位置し、夏は比較的涼しく冬でも降雪量が少ないといった恵まれた気候環境が特徴です。

歴史的には、毎年7月に開催される、千年以上の歴史を持つ国指定重要無形民俗文化財の伝統行事である「相馬野馬追」が有名です。

南相馬のお米に込めた、私たちの想い

お米を作る 農家さんの想い

ごろくファーム株式会社
荒利敬さん・淳子さん



お米を販売する お店の想い

服部米穀店 代表 / 南相馬市米穀小売商組合 組合長
服部 元一さん



お米作りを学んでいる 学生の想い

福島県立相馬農業高等学校
生産環境科作物専攻班・2年生の皆さん



農業は大変さもありますが、自分で育てたお米が出来た時の達成感や食べた時の美味しさの感動の方が大きいです。農業離れしていると言われますが、自動トラクターなど最先端技術を駆使する格好良い農家に自分自身がなって、それを見て「農業って格好良い」と思って農家になる人をどんどん増やしたいです。「南相馬市産天のつぶ」は南相馬の農業を活性化させる第一歩だと思います。全国の人に知ってもらい食べてもらいたいし、それによって南相馬の農産物の安全性と美味しさが伝わってほしいです。

南相馬市長 門馬 和夫



「おいしいお米を届けたい」「元気になった南相馬を知ってほしい」そのような想いをみなさまにお届けすべく「南相馬市産天のつぶ」を作りました。

「南相馬市産天のつぶ」と銘打ったお米を発売するのは初めてです。おいしさについては私が自信をもっておすすめいたします。

ぜひ、一度ご賞味ください。